

Puppy

出会い

2G程度のUSBメモリに入るlinuxを探していたところ100Mちょっとのlinuxに出会った。それがPuppy。

<http://openlab.ring.gr.jp/puppylinux/>

Puppyに出会う直前にKnoppixLCATに出会った。CATの次にPuppyとはなんたる偶然だろう？

<http://www.rcis.aist.go.jp/project/knoppix/>

LCATは高速起動の為の技術。ファイルの配置を変更するだけなのだが確かに高速起動になっている。

話をPuppyに戻そう。

ダウンロードしてCDに焼いてみる。小さいのでダウンロードもCD作成も短時間だ。

さて、お馴染みのCD起動だ。これが早い。あれっ？という感じ。

なんだかかわゆい系の画面。使い物になるのだろうか？

ネットワーク

とりあえずインターネット接続できるか試してみる。

これがブラウザのようだ。ダブルクリック。二つ開いてしまった。どうやらシングルクリックで起動するようだ。

何か表示された。アドレスバーを見るとローカルなファイルのようだ。URLを入力してみよう。

`yahoo.co.jp`

表示されない。つながっていないようだ。

コンソールエミュレータを起動してみる。あ！又、二つ起動しちゃった。シングルクリック、シングルクリック。

`r x v t`のようだ。bashのようだ。

`ifconfig`

とタイプする（実際は `ifcTAB` としか押していないが）。

loしか無いから使えるはずが無い。

色々調べると どうやら 接続 で設定するようだ。

対話型なのでなんとかなりそう。色々試す。

無線LANが使えなくはないが安定感がいまいちだ。有線接続にした。

`eth0`にDHCPからローカルアドレスを貰う。ブラウザを再読み込みする。開通した。

サクサクと軽快に動く。

mixiアプリはどうだろうか？

knoppixでFlashPlayerのインストールに失敗、挫折しているので一筋縄ではいかないだろうと思う。

一番の難敵 マイ・バーを起動してみる。あれ？ローディングしている。ん？動いた。何も設定していないのに。

低スペック（メモリ300M程度 CPU500Mhz）の装置でも試してみる。動く！マイ・バーが動く。（さすがに遅いが）

使える目途が立ったのでUSBにインストールしよう。

USBインストール

USBブートできるマシンでPuppyUSB作成だ。

mp3プレイヤーでMicroSDを入れてUSB接続する物を使用した。

インストールをシングルクリックすると（やっと慣れてきた）色々聞かれる。失敗を恐れずに突き進むのだ。何をどうやったかはっきりとは覚えていないがインストールできた。

シャットダウンする時にユーザ設定ファイルが作られるようだ。これが少々時間かかる。

再起動。起動メディアはUSB。よしっ 来たっ！

もうまんたい。

低機能装置の方はUSB起動できない。CD起動で行くべきか。ユーザ設定ファイルだけをUSBで供給するか。迷う所だ。

通常のCD起動linuxはCD装置がOSに占有されてしまうが、Puppyは起動してしまえばCDを取り出してもかまわない。なぜなら、全てメモリ上に読み込まれているからだ。だから何をやるにも高速。この割り切りが素晴らしい。

他の装置をLAN経由で遠隔操作しちゃおう。それがVNCだ。

クライアントはあるのにサーバが見当たらない。

調査の結果 x11vnc が使えるらしい。早速インストール。起動してみる。

```
x11vnc
```

危険だぞ。本当にいいのかい？ そんなメッセージが出る。

パスワードも設定していないのだから当然だね。マニュアル等を参照して設定する。

このページが参考になるでしょう。

<http://fujiyama443.blog102.fc2.com/blog-entry-86.html>

これで遠隔操作できるようになる。自動起動させよう。

~/xinitrc 内の j w m より前に追記する。

```
x11vnc -rfbauth /root/.vnc/passwd -forever &
```

-forever指定しているのに一度落ちるとうまく入れない。ので rstvncを作った。

```
#!/usr/bin/perl
```

```
open l,'ps |';
```

```
while(<l>){
```

```
    next unless (/(\d+).*x11vnc/);
```

```
    print $_, $1, "\n";
```

```
    system("kill $1");
```

```
}
```

```
system('x11vnc -rfbauth /root/.vnc/passwd -forever &');
```

これを起動させる為に inetd をインストールし ~/xinitrc に追加する

```
x11vnc -rfbauth /root/.vnc/passwd -forever &
```

```
inetd &
```

ターミナルで入ってvncサーバを再起動するのだ。ああ めんどくさい。

その為に root にパスワードを設定する。（その為じゃなくてもパスワードを設定すべきなのだが）

これで やっと 安定継続遠隔操作が可能になった。

Webサーバ構築

秋葉原の怪しい店で8000円にて購入したNEC-MATEがある。

XPにHttpdをインストールしてWebサーバとして使っている。

CPU 2 Ghz。メモリを最大の1Gに寄せ換えた。それなのに何故か遅いので これにもPuppyをインストールする。

HDDにインストールしよう。小さいのでどこにでも入る。

インストールし終わったらGrub 4 DOSで起動設定。ほとんど自動でやってくれる。

再起動確認。

DHCPでローカルアドレスを貰う。

ここまで問題無し。

Webサーバと言えばapache。でもPuppyにはmonkeyが有る。Petパッケージマネージャでインストールしよう。

(なるほど サーバmonkey と ブラウザseamonkey のセットなのか！)

/root に Monkey-Web-Server ができるのでクリック。 **Start**して**Show**すると導入ページがSeamonkeyに表示される。

CGIがソース(perlスクリプト)のまま表示される。設定ファイルをあれこれやってなんとかCGIが動くようになった。

めでたしめでたし。

あとはhtmlとCGIをコピーするだけ。

だけじゃなかった。

SjisからEucへのコード変換が必要。改行コードの問題もある。そしてPuppyにはnkfが無いようだ。

Geanyテキストエディタで一つ一つ変換すればいいのだろうが面倒だ。

XP上でPerl と nkf で変換しよう。どちらもUnixツールなのにXPで使っているところが可笑しい。

さて コピーしてCGIが動くかな？動かない。だよね～。パスが違うものね～。

XPでは /w/www だった物が /root/monkey/public_html/ に成った。

これをちまちま変更しなければならないのね。

libへのパスも変更。

これは 直接 #!/usr/bin/perl -i /root/monkey/public_html/cgi-bin/lib とすれば良いだろう。

どうかな？

DBMが動かない。データのやりとりにDBMを使っているのが致命的だ。

調べてみると Gdbm が入っているようなので使えて良い気がする。

Petインストーラーを見ると perl5.8 が有る。ダメ元でインストールするとあっけなくDBMが通った

。詳しくテストしていないが使いそうな気がする。

なかなか作業しないで放置中。長いメンテナンスです。

WebServer img

cgi-bin 以下に置いた画像が表示されないようだ。

しかたなく /root/monkey/public_html/img に置く。

ファイル数が多くなりすぎると整理がつかないし、同名ファイルがあるとややこしいので chat や 10sec 等フォルダを作って入れてゆこう。

chat と 10sec を復旧した。

回文は日本語の並べ替えが難しかったが、use Encode; でなんとか復旧した。

Monkey を使っていて不便だと感じていたのは自動で起動してくれない事だ。Daemonなのだからこっそりと起動してくれていてもいいじゃないか。

又も、.initrc に追記か？と考える起動コマンドを探していたら ~/Startup を見つける。ドキュメントを読むと、ここに置いたファイルを実行すると書いてあるような気がする。MSOS にも同様の機能がある。Puppy はキーアサイン等MSOSに似せて作ってあるので、この部分も似せたのだろう。

研究の末起動コマンドがわかった。

```
~/Monkey-Web-Server/bin/monkey -D -c ~/monkey/conf
```

~/Startup に monkey というファイルを作り上記コマンドを入れる。chmod +x monkey で実行属性を持たせる。これで準備完了。再起動するとあっさりと MonkeyWebServer が動作している。

これでサーバを起動し忘れたという事が無くなるだろう。

Puppyの話では無いがvncについて書いておこう。

ひとつのグローバルアドレスに複数の装置を設置するならば

装置a `x11vnc -rfbauth /root/.vnc/passwd -rfbport 5901 -forever &`

装置b `x11vnc -rfbauth /root/.vnc/passwd -rfbport 5902 -forever &`

等としておいて `vncviewer`で 選択的に操作できる。

ipが 11.22.33.44 ならば 11.22.33.44:1 11.22.33.44:2 だ。

local ip の場合 192.168.1.3:1 192.168.1.4:2 等となり混乱しがちなので local ipに合わせて

192.168.1.3:3 192.168.1.4:4 のようにすると良い。

キャラクターベース端末 (telnet)

telnet は端末機能を提供する。古くはRS232-C、現在はLANで接続された装置での端末操作を可能とする。

サーバはtelnetd で機能を提供し、クライアントは telnet 等のターミナルを使用する。接続すると以下のような雰囲気になる。

```
Linux 2.6.30.5 (localhost) (0)
puppypc login: root
Password:
#
```

の位置にキーボードでコマンドを入力して装置に指示を与える。(キャラクターベース ユーザーインターフェース=CUI)

使用例

```
Linux 2.6.30.5 (localhost) (0)
puppypc login: root
Password:
#whoami
root
#
```

telnetd をインストールしたら inetd が付いてきた。

inetd はポート (telnet は23番) を監視して要求を発見するとそのポートに割り当ててある機能を起動する。機能が必要になるまで起動しない、つまり不必要な機能が起動していなければリソース (メモリ領域とCPU時間) の節約になる。起動に時間がかかるので高速動作には向かない。

プリンタ・ファイル共有 (samba)

sambaと聞いてダンス音楽のサンバを思う人は情熱的。産婆さんを思う人は優しい。

マイクロソフト社の提供するOS（オペレーティングシステム＝基本ソフト）に付随する、プリンタ・ファイル共有機能を違うOSで使用可能にする。

プリンタ・ファイル共有機能を提供するのが `smbd` プリンタ・ファイルサーバと呼ばれる。

プリンタ・ファイル共有機能を利用するのが `samba` プリンタ・ファイルクライアントと呼ばれる。

`smbd` はそれ用にユーザとパスワードを設定する必要がある等、設定がややこしいので書いておく。

・ `samba`をインストール

`petget` する。

・ `samba`ユーザの設定

混乱を避ける為にユーザを作成しよう。

```
adduser USR-NAME
```

```
passwd USR-NAME
```

希望パスワードを2回聞かれるので同じ文字列を入力しよう。（パスワードは表示されない）

`/home` の作成が必要かもしれない。

`samba`にユーザを作ろう。

```
/opt/samba/bin/smbpasswd -a USR-NAME
```

希望パスワードを2回聞かれるので同じ文字列を入力しよう。（パスワードは表示されない）

混乱を避ける為に、ユーザ名と`samba`ユーザ名、ユーザパスワードと`samba`ユーザパスワードを同じにしておこう。

・ `samba`の起動

以下の2コマンドで起動する。

```
/opt/samba/sbin/smbd start
```

```
/opt/samba/sbin/nmbd start
```

設定を変更したら以下の2コマンドで設定を反映する。

```
/opt/samba/sbin/smbd restart
```

/opt/samba/sbin/nmbd restart

設定ファイルは /etc/smb.conf のようだ。

・ 接続

別の装置からネットワーク共有を使って接続してみる。

マイネットワーク、ネットワーク全体、ワークグループあたりでファイルサーバを探す。

見つけたら、設定したユーザ名とパスワードで侵入する。

ファイルを作成、読み書きしてみよう。

jwm これが標準のウィンドウマネージャ。

どういう訳かトレイ設定ツールが失敗するようになった。色々試行錯誤したが改善しない。エディタで直接設定ファイルをタッチしてみる。まあ、なんとかなるようだ。

触ったファイルは ~/jwm何がし 隠しファイルだね。

データを取り出す【pupsave.2fs】

puppyのファイルシステムは起動時にハードディスク等からメモリに読み込まれて、終了時等に保存される。初期値ではpupsave.2fs が採用される。この中のデータを取り出したい場合は保存したいパーティションをマウントして複写すれば良い。

しかし、複数の保存ファイルがありどれに入っているかわからない場合等はやっかいだ。そんな時はCDで保存ファイル無しで起動すると良い。保存ファイルを ROX-filer でクリックすると内容にアクセスできる。（通常起動だとファイル使用中でアクセスできない）

新とは言っても中古のぼろぼろ東芝製ノートマシンだ。

CPU 900MHzメモリは256Mだろうか？

OSは古いMSOS。これは完全削除。Puppy専用マシンにする。

設定しようにもキーボードが不調だ。PS2外付けキーボードを付けて対処する。

HDDのパーティション切りでスワップメモリから作ったら起動出来なかった。

/ファイルシステム、スワップの順番でパーティションを切ったら問題無く起動した。

LANの設定をする前に飽きた。

ドライブがDVD-ROM対応のようなので、すごく暇な時に何か再生できるか試そう。

マシンパワーが必要なので本末転倒なのだけれど、仮想PCでPuppyを動かすプロジェクトがある。USBメモリ等の小さな記憶メディアに入れて持ち運び、借り物PCでPuppyの環境で作業できる。PCには一切手を付けない。ネットカフェに最適かな。

2 1 7 とバージョンが古い物の紹介記事を発見。環境を作ってみる。

2 GのMicroSDに入れた。

qemuに少々癖がある。習うより慣れろ。

どこで探してきたのか、4 3 1 JPが見つかった。

<http://182.164.209.202/puppy/pup4/QemuPuppy/>

HDDのイメージファイルにインストールされているのでそのまま使える。

インターネットもそのままつながった。

qemu が重いのがネック。

バックアップの為の起動用

MSの尻拭いみたいでどうだろうね とは思うが こういう使い方も有りだてゑ事で

MSOSはHDDの一部がクラッシュして、それがOSの重要な部分だとどうにも起動できない

そんな時CDブートできるOSは有利だ

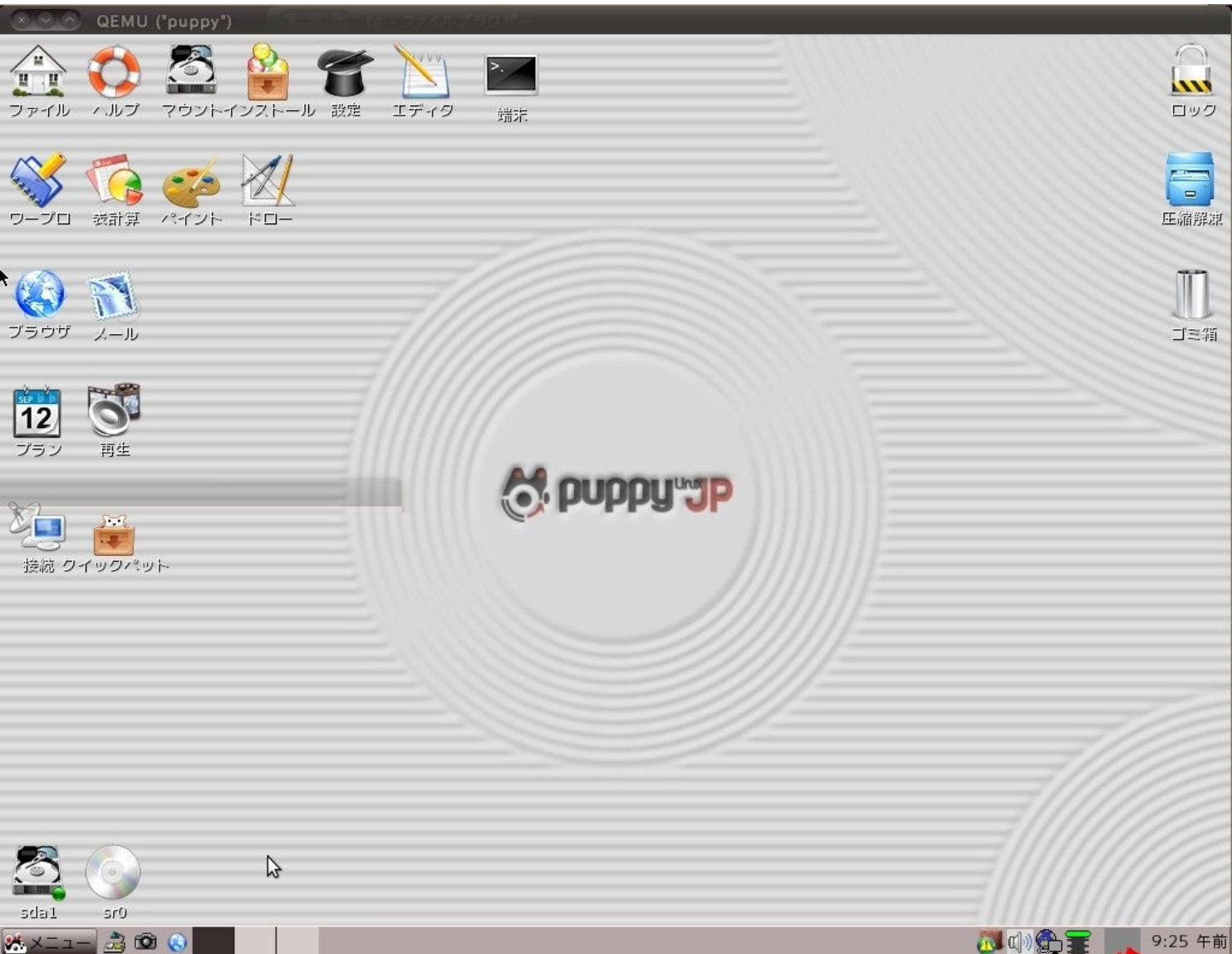
Puppyなら小さいから、ダウンロードが早い 焼くのが早い 起動が早い 動作が早い だからおすすめだ

そうして重要なデータを救出するわけだ

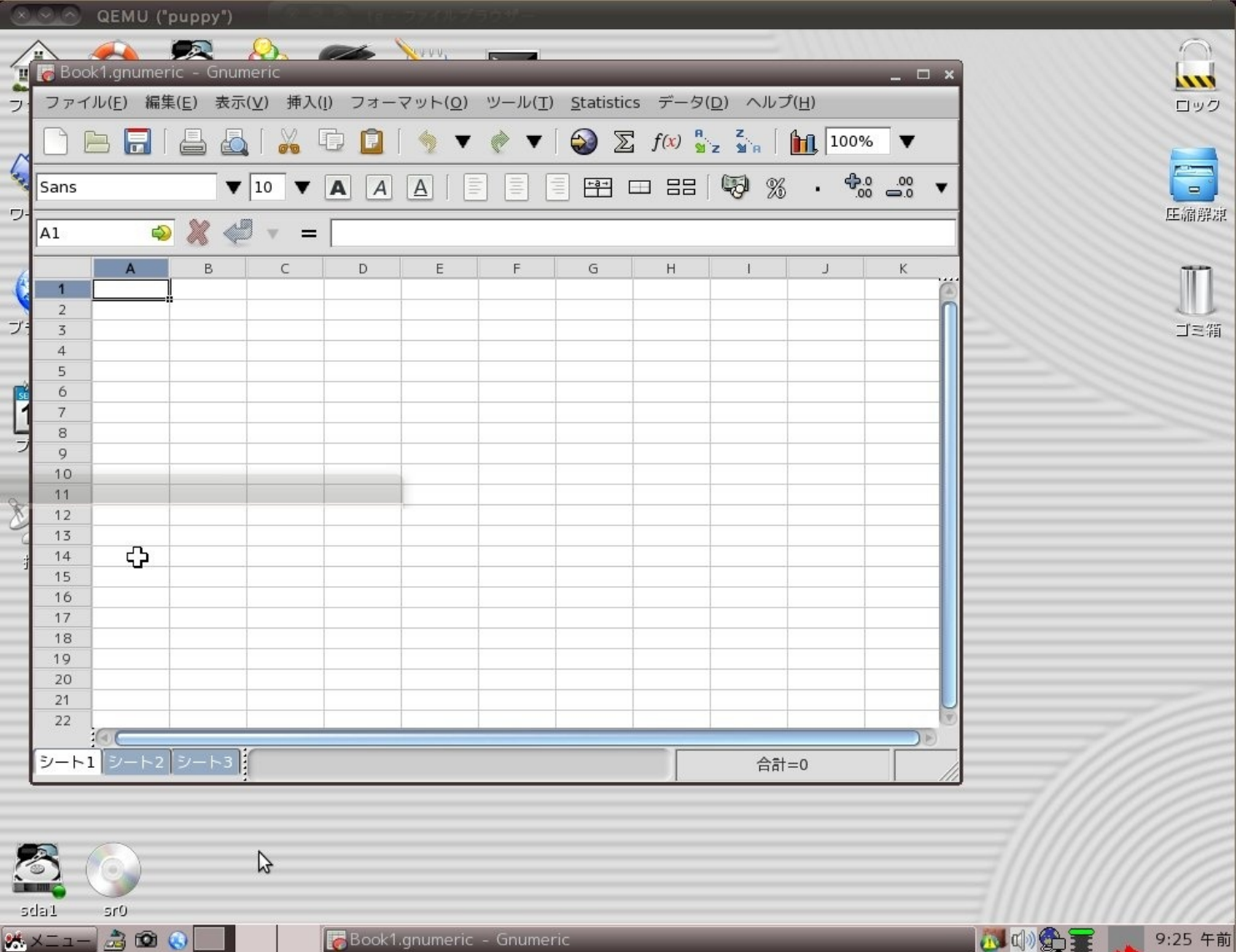
バックアップメディアがCDだけの時、CDを交換できるPuppyはさらに有利だ

AQEMU 仮想マシンに lupu-528JP.iso をセットして起動する

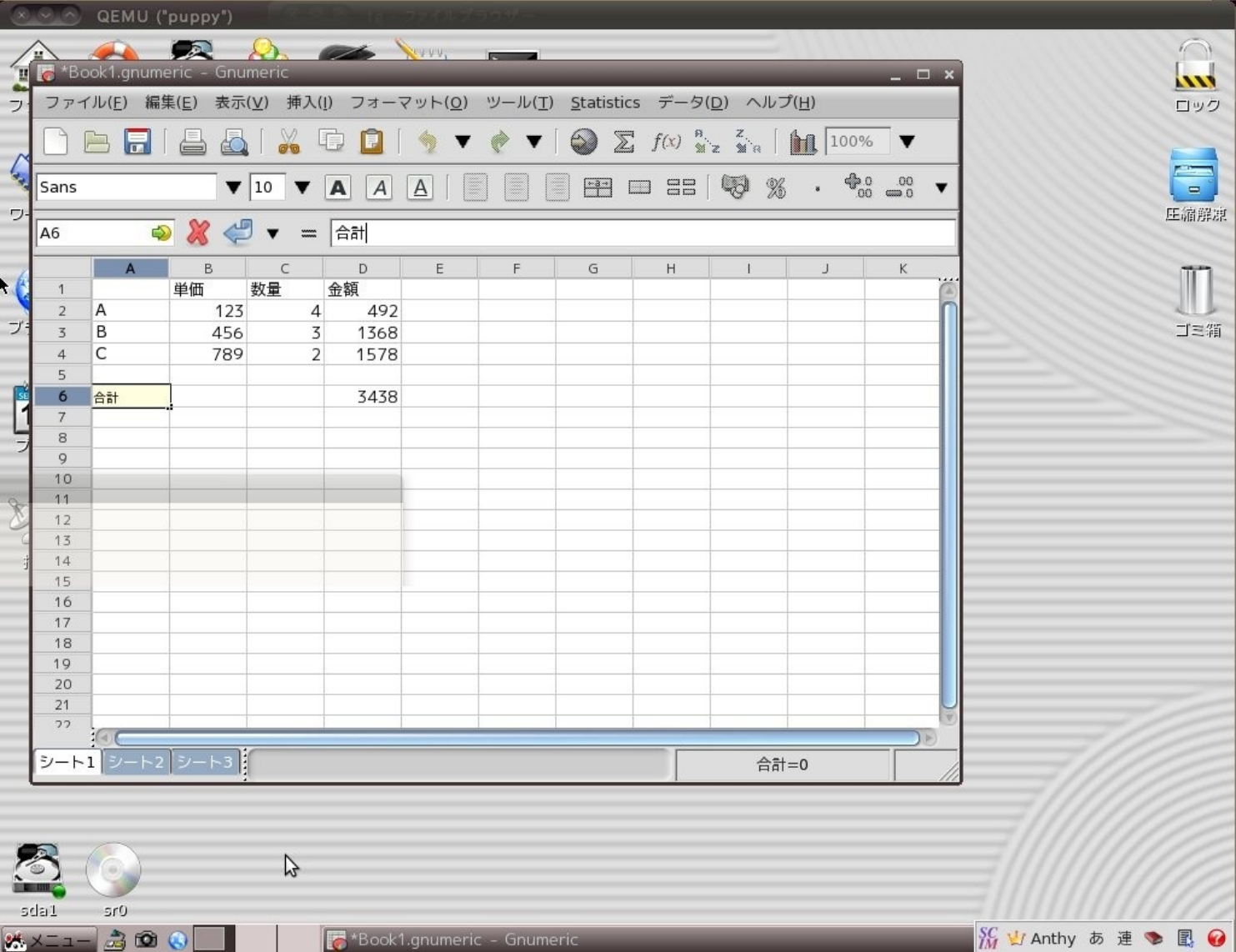
いくつかの質問に答えるとこうなる



デスクトップの表計算を起動する



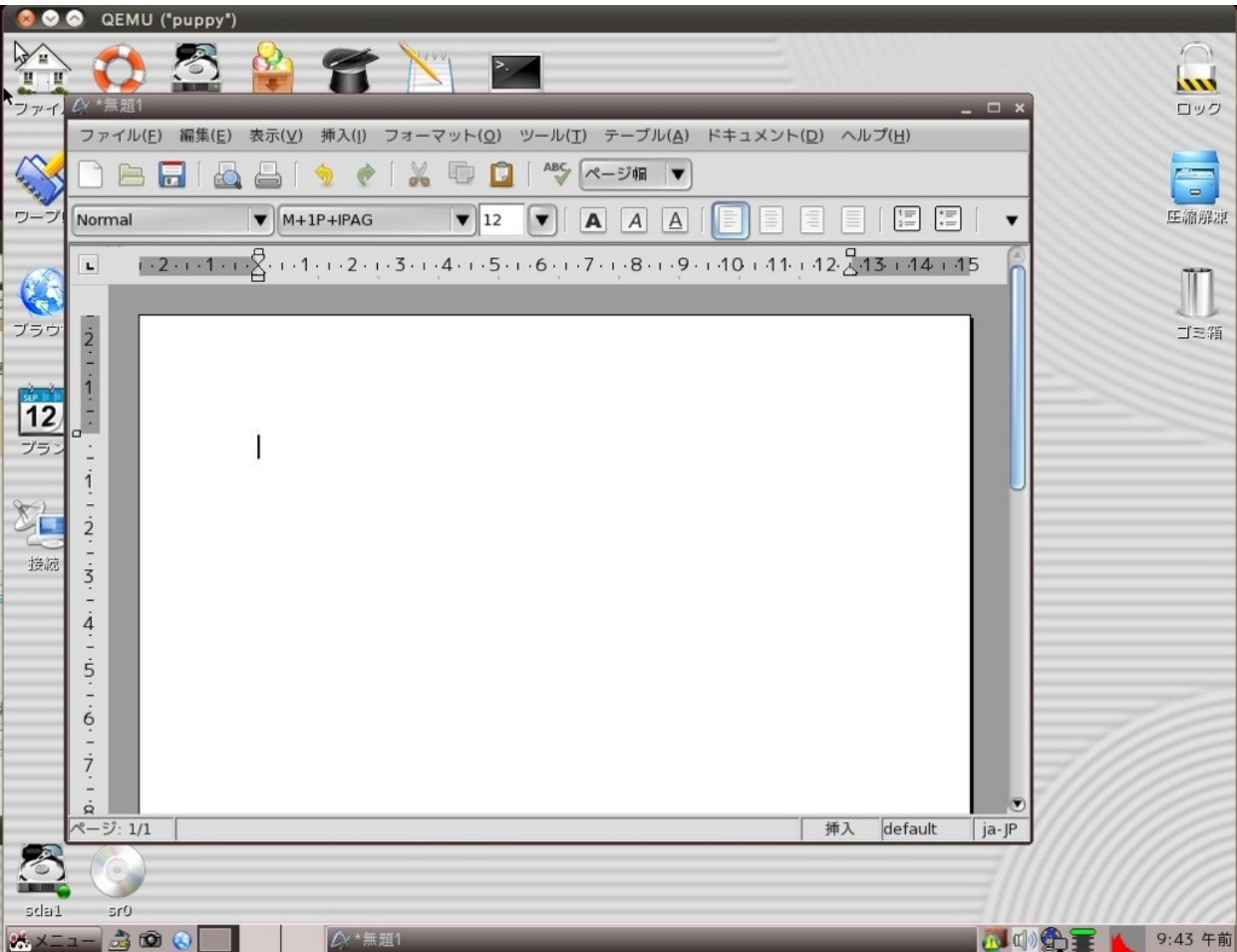
適当な表を作ってみる



感覚的に扱えた

ワープロを使ってみる

ワープロを起動



適当な文書を作る



abiword 2.8.6

(c) 1998-2010 Dom Lachowicz and other contributors, GNU GPL v2.0

<http://www.abisource.com>

Credits

Close

山田から山田へ

3月16日、副都心線と東急東横線が相互乗り入れが始まる
西武池袋線から東急東横線への直通運転がありそうだ
所沢の山田うどん本店から23区唯一の山田うどん店舗蒲田店
に、西武池袋線所沢、東急東横線多摩川、東急蒲田と乗り継いで
行ってみよう
西武新宿線所沢から高田馬場、山手線品川、京浜東北線蒲田と
行った方が安くて早いような気がする
蒲田店には2階席がある 長居できそうだ 長居して何をす
かと言うと呑みでしょう

ページ: 1/1

挿入

default

ja-JP

sda1

sr0

yamada.odt

9:54 午前

rootでssh

<http://qa.itmedia.co.jp/qa7651899.html>

この記事よればrootならば普通にsshログインできるようだ

(別ユーザでログインするために PuTTY SSH を使っていた)

Vinagre のSSHで試してみたらログインできた

これでいいじゃん (ログイン直後に su すればいい)

復旧？

先月 全データを失った host1free だが アカウント情報は残っていたようで7月10日に再開する
見込みだとか

ネタ元 <http://d.hatena.ne.jp/http4799/20130703/1372844484>

バックアップの大切さが骨身に浸りました (でも しないけどね)